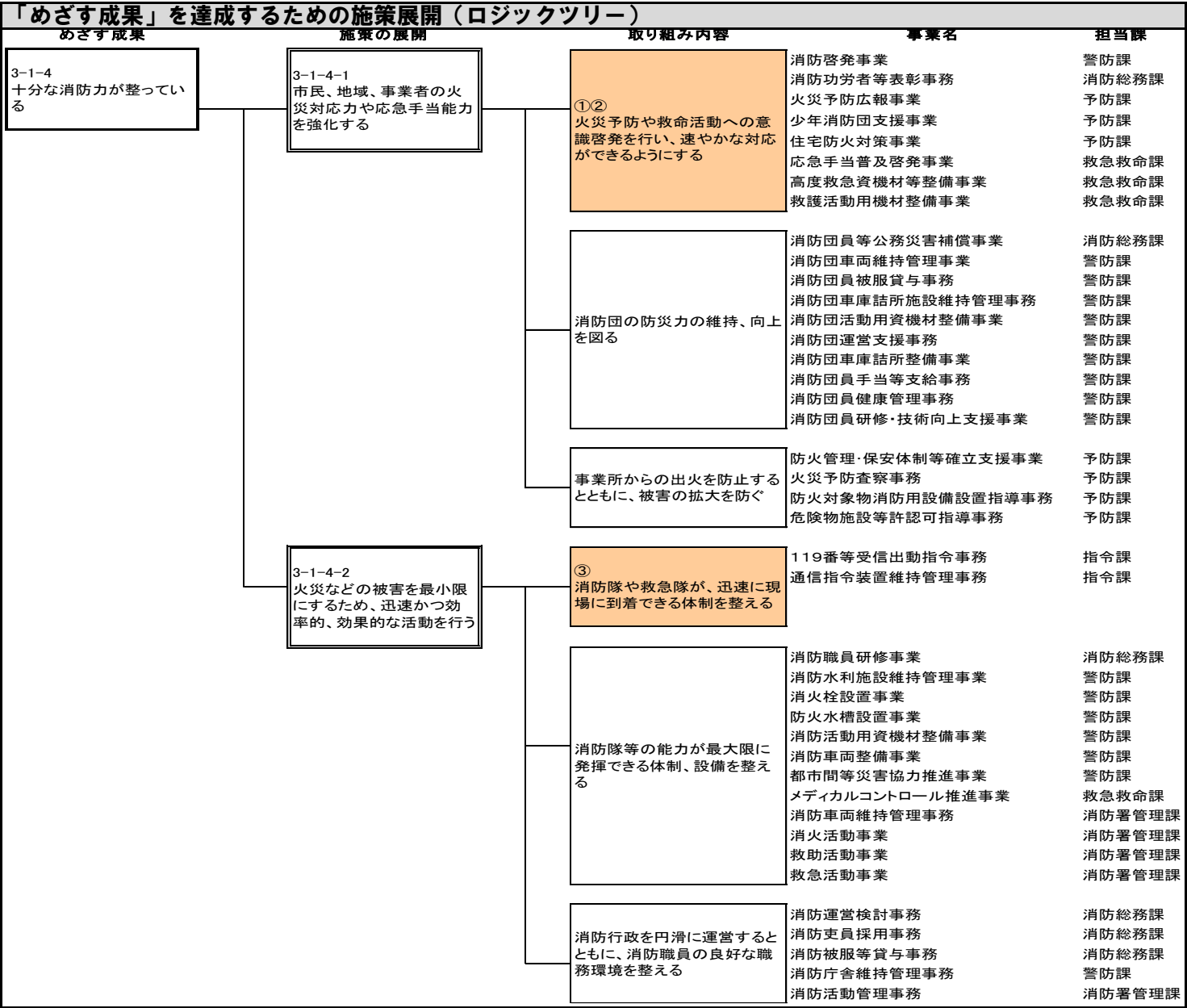


平成28年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
3-1-4 十分な消防力が整っている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	まちの健康・安全と安心が感じられるまち
	個別目標	災害への対応力を高める
	めざす成果	十分な消防力が整っている
		迅速な消防体制、救急救命体制が維持され、火災や事故による被害が最小限に抑えられています。



成果を計る主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画			
		計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
	① 火災発生率（人口1万人あたりの火災発生件数）	3.0件	2.6件	2.5件	3.0件	1.8件	2.7件	2.6件
	② 救命講習受講者資格取得者数（累計）	10,190人	19,190人	24,474人	27,594人	31,233人	28,000人	35,000人
	③ 救急車の医療機関到着までの所要時間			36.8分	37.8分	38.0分	36.0分	36.0分

所 管 部	消防本部
-------	------

平成27年度までの取り組み内容	【市民、地域、事業者の火災対応力や応急手当能力を強化する】 - 市内小学5・6年生の授業において心肺蘇生トレーニングキットを活用した講習（H26：5校、H27：11校）を、中学2年生の授業において普通救命講習（H26：4校、H27：6校）を実施しました。 - 毎月第一土曜日を「AEDの日」とし、駅頭ではAEDに関するチラシを配布するなど、多くの市民にAEDの使い方と設置場所の周知を図りました。 - 救命講習会を実施（H26：122回、H27：116回）し、平成26年度からの2年間で延べ6,759人が資格を取得しました。 【火災などの被害を最小限にするため、迅速かつ効率的、効果的な活動を行う】 - 平成27年度から救急隊を1隊増やし、救急隊6隊の運用を開始し、傷病者に応急処置又は救命処置を行うとともに、医療機関へ搬送しました。 - 救急救命士を含む救急隊員の知識・技術の維持及び向上を図るため、各種認定資格の取得や教育研修へ派遣しました。 - 消防活動用資機材や高規格救急自動車、水槽付消防ポンプ自動車などの消防車両の計画的な更新を行い、災害対応力を強化しました。
-----------------	--

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	- 市内のどこにいても概ね3分以内でAEDを取りに行ける環境になりました。今後は、設置密度の低い地域への設置を進めていきます。 - 救急車の医療機関到着までの所要時間が延びていますが、医療機関決定までの時間や市外病院への搬送件数の増加、高齢の方からの情報提供の遅延が要因であり、大幅な時間短縮は難しくなっています。 - 気象や生活形態の変化により、災害等も多種多様化しており、現状に即した有効な災害活動ができるよう職員の訓練や研修を実施するとともに、資機材の充実が必要となっています。 - 住宅用火災警報器の設置が義務付けられ10年が経過していることから、今後は既設同警報器の適切な維持管理等の指導の徹底が課題となっています。
-------------------------	---

今後の展開方針		注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充	- 小児・乳児・新生児を対象とした普通救命講習Ⅲを保育付で新規開講します。 - スマートフォン等の携帯端末にAEDの設置場所が表示される情報発信ツールを開発します。	（該当する事務事業） 応急手当普及啓発事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し		（該当する事務事業）